

# かくだ

Kakuda city

## 市議会だより

### 第175号

平成26年2月1日



ライブ配信やってます

※詳細は9、10ページ



▲第8回議会報告会開催のようす（平成26年1月23日 東根自治センターにて）

### ■おもな内容■

第370回定例会	2～7
◇本会議の概要	2
◇陳情の処理・意見書の提出	2
◇審議結果一覧	3
◇一般質問	4～7

◆行政視察の報告	8
◆角田市議会ライブ中継	9
◆角田市議会会議録	9
◆2月定例会日程（予定）	10
◆議会日誌	10
◆編集後記	10

条例議案、補正予算議案など  
16件の議案を審議しました。

第370回定例会は12月2日に招集され、市長提出議案が15件、議員提出議案が1件、あわせて16件の議案を審議しました。上程された議案は、慎重に審議され、18日間の会期を経て同月19日に閉会しました。

本会議

◎第1日（12月2日）

会期を19日間と決定した後、市長から上程された議案に対する提案理由の説明がありました。

◎第2日（12月11日）

初日に市長から提案された15議案に対し、本田敏昭議員、日下七郎議員、八島定雄議員、小湊毅議員の4名が質疑を行いました。質疑の後、条例議案1件について所管の常任委員会に付託しました。

◎第3日（12月18日）

はじめに、角田市自治センター条例の制定について、市長より事件撤回の請求があり承認されました。次に、条例の一部改正7議案、補正予算3議案及び指定

管理者の指定に関する議案4件についてを審議し、表決の結果、原案のとおり可決されました。

続いて、本田敏昭議員を提出者とする「子ども被災者支援法基本方針に対する意見書」の議員提案があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

その後、一般質問が行われ、3名の議員が市政全般について質問を行いました。（4～5ページ参照）

◎第4日（12月19日）  
前日に引き続き、5名の議員が一般質問を行いました。（5～7ページ参照）

今期定例会は、12月20日までの予定でしたが、議案審査が全て終了した事から、1日早く閉会しました。

審議結果は、3ページ表1のとおりで、審議された議案の主なものは次のとおりです。

主な補正予算の概要

▼一般会計（第4号）

歳入歳出予算にそれぞれ5,265万5千円を追加補正するとともに、繰越明許費及び債務負担行為の補正を行うものです。

歳入の主なものは、県支出金及び前年度繰越金の追加で、歳出の主なものは、次のとおりです。

- 子ども・子育て支援システム構築業務委託料
- 角田市6次産業化支援事業費補助金
- 屋内温水プール観覧室空調機修繕等

その他

▼指定管理者の指定について

- 施設の名称
- ・角田市老人福祉センター内町荘
- ・角田市婦人研修センター
- ・角田中央公園（角田市屋内温水プールを除く。）
- ・台山公園（角田市スペースタワー・コスモハウスを除く。）
- ・角田市市民ゴルフ場及びあぶくまパークゴルフ場
- ・角田市総合体育館
- ・角田市スポーツ交流館
- 指定する団体
- ・公益財団法人角田市地域振興公社
- 指定の期間
- ・平成26年4月1日
- ・平成30年3月31日

▼指定管理者の指定について

- 施設の名称
- ・角田市農業の館
- 指定する団体
- ・みやぎ仙南農業協同組合
- 指定の期間
- ・平成26年4月1日
- ・平成30年3月31日
- ▼指定管理者の指定について
- 施設の名称
- ・角田駅コミュニティプラザ

陳情の処理

- ・角田市スペースタワー・コスモハウス
- 指定する団体
- ・角田市観光物産協会
- 指定の期間
- ・平成26年4月1日
- ・平成30年3月31日
- ▼指定管理者の指定について
- 施設の名称
- ・角田市屋内温水プール
- 指定する団体
- ・陽光セントラル共同企業体
- 指定の期間
- ・平成26年4月1日
- ・平成30年3月31日

意見書の提出

国の関係機関へ、次の意見書を提出しました。

▼「子ども被災者支援法基本方針に対する意見書」の提出を求める陳情

角田市小坂字石原55-2  
放射能から角田を守る会  
代表 池田 政行

▼子ども被災者支援法基本方針に対する意見書

表1

第370回定例会審議結果一覧

議員数は17名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は16名。（○…賛成、×…反対）

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブ みんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党 角田市議団	無党派
市長提出議案							
平成25年度補正予算 一般会計補正予算（第4号）	12月18日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
介護保険特別会計補正予算（第3号）	12月18日	可決	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	12月18日	可決	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	12月18日	可決	○	○	○	○	○
角田市市税条例の一部改正について							
角田市国民健康保険税条例の一部改正について							
市営住宅条例の一部改正について							
角田市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について							
角田市社会教育委員の設置に関する条例の一部改正について	12月18日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
角田市道路占用料条例等の一部改正について							
角田市自治センター条例の制定について	12月18日						
その他							
指定管理者の指定について (公益財団法人角田市地域振興公社)	12月18日	可決	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について (みやぎ仙南農業協同組合)							
指定管理者の指定について (角田市観光物産協会)							
指定管理者の指定について (陽光セントラル共同企業体)							
議員提出議案	議決年月日	議決結果	クラブ みんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党 角田市議団	無党派
意見書	12月18日	可決	○	○	○	○	○

≪各会派の構成メンバー≫

- クラブみんしん（谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、伊藤善昭、柄目孝治）
- 政友会（渡邊誠、齋藤正一郎、小湊毅）
- 市民クラブ（本田敏昭、小島正、湯村勇）
- 日本共産党角田市議団（日下七郎、八島定雄）
- 無党派（会派に属さない議員）馬場道晴、相澤邦戸、佐藤正友議長、高橋力雄副議長



### 放射光施設誘致に向けた 角田市の取組みについて

小湊 毅 議員

議員▼現在、丸森町に放射光施設を誘致しようとして、丸森町を軸に積極的に誘致活動を進めています。放射光施設は巨大で高性能な顕微鏡という言い方にもなりますが、基礎研究の施設です。市長も誘致すべきとの考えのもと積極的に活動して頂いていることは承知しています。まずはじめに、市長の考える放射光施設の魅力、地元への施設が作られ運用されていくことの魅力を伺います。

可能性の拡大であると考えています。そして、その先には定住人口の拡大であったり、雇用機会の増大であったり、一言では言い尽くせないほどの魅力があると感じています。誘致運動を丸森町とともに大いに盛り上げて現実のものにし、角田市を活性化していきたいと考えています。

議員▼誘致に向け角田市としても予算措置を講じた体制が必要ではないでしょうか。また、各自治体だけでなく、さらに大きな体制をもって誘致活動を進めていくべきだと思います。

市長▼平成26年2月に仙南4市9町で組織する(仮称)宮城県南地域放射光施設誘致促進協議会が、丸森町の呼びかけで設立する予定になっています。角田市もこの協議会の負担金を新年度予算に計上し、仙南地域一丸となつて本格的な誘致活動を行う予定です。

市長▼平成26年2月に仙南4市9町で組織する(仮称)宮城県南地域放射光施設誘致促進協議会が、丸森町の呼びかけで設立する予定になっています。角田市もこの協議会の負担金を新年度予算に計上し、仙南地域一丸となつて本格的な誘致活動を行う予定です。



▲大型放射光施設spring-8(直径約450m)兵庫県佐用町  
画像提供者:独立行政法人理化学研究所

議員▼過日行われた放射光施設(巨大顕微鏡)についての講演会において、参加者から「この施設誘致を実現するために何が必要か」という質問がありました。講師の籠島先生は「皆さんの心意気です」と回答されておられます。この施設誘致に向けた市長の心意気を聞かせてください。

市長▼これまでもしっかり対応しておりますので、今後とも引き続き取り組んでまいります。



### 行政区集会所の老朽化に伴う 修繕等への補助制度の拡充について

八島 定雄 議員

議員▼先の一般質問に対する答弁で、「行政区集会所の老朽化に伴う修繕についても補助の対象となるよう見直しを行う必要がある」と答弁していますが、その後の進捗状況について伺います。

市長▼今後、各地区の集会所の老朽化が進み改修が必要になってくること

#### 「角田市子ども読書活動推進計画」について

議員▼子ども図書館のこれまでの利用状況と今後の課題について伺います。

教育長▼平成23年7月に子ども図書館が開館して以来、子供たちの読書に対する興味・関心は少しずつ高まっています。平成24年度の入館者数は1万3,262人です。これは図書館全体の利用者4万9,973人の26.5%を占めており、月平均で1,105人、1日当たり48人の利用です。子どもだけでなく、保護者同伴の利用が増加しており、リピーター化する傾向にあります。読み聞かせでは、月2回のペースで実施。徐々に関心が高まってきており、本との新しい出会いにもつながっています。さらに、市内の保育所や幼稚園の園児たちの見学、市内外の小学生の校外学習等で利用されることが多くなっています。

#### 放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る総合的な対策について

議員▼角田市が最終処分場の候補地の提示を受けた場合、市長はどのように対応するのか伺います。

市長▼本市にとっては、大変重要な問題を抱えることとなります。国に対しては、市民及び議会などに十分な説明を求めるとともに、市民の意向を伺いながら、議会と一体となって検討します。

#### 八島議員その他の質問

○急がれる待機児童対策について



### 土砂災害防止法に基づく 危険箇所について

細川 健也 議員

議員▼土砂災害防止法に基づいて把握されている、土砂災害警戒区域は市内のどこに何箇所あり、どのような管理・周知がなされているのか伺います。

市長▼県が政令で定める基準により、現場を調査し市長の意見を聞いて指定するもので、市内には平貫2か所、君萱3か所、坂津田1か所、小坂1か所、横倉2か所の合計9か所が指定されており、これらの区域内には47戸の世帯が居住しています。土砂災害警戒区域に指定する際には、地元住民を対象に説明会を開催し、平成18年に県が指定しました。区域の指定後、土砂災害や警戒等に関する情報及び避難計画等の警戒・避難体制についての説明会や、毎年6月の土砂災害防止月間において、県と市の合同で現地パトロールを実施しています。今年には坂津田

と小坂地内の2か所の区域を点検したところ、特に異常は見受けられませんでした。

議員▼市内に9か所とは少ない気がします。また、周知徹底という点では、該当地域の住民の皆さんだけでなく、広く一般に周知することが重要ではないですか。

防災安全課長▼県は、土石流の危険渓流区域、急傾斜地崩壊危険区域、地滑り危険区域ということ、市内で57か所把握しているようです。県でその区域を再度調査し、警戒区域の指定を今後もしていくと思います。

議員▼今後の対策としてどのような計画がありますか。

市長▼現在、角田市地域防災計画の修正を行っており、その中で警戒区域ごとに、土砂災害に関する情報の収集及び伝達、予報または警戒の発令の伝達及び避難、救助等に

### 放射線から子どもを守る 施策について

馬場 道晴 議員



議員▼政府は、10月11日、東京電力福島第一原発事故の被災者を支援する子ども被災者支援法の基本方針を閣議決定しました。福島県内の33市町村を支援対象地域に定め、それ以外に健康調査など個別の施策ごとに柔軟に支援する準支援対象地域を定めています。福

島県では、放射線量が健康に与える影響について不安を訴える住民は非常に多く、また本市も同様に不安を訴える市民、特に子育て中のお母さんは非常に多くおられます。市民の健康に対する不安をどう解消するのか伺います。

市長▼平成24年2月に示された宮城県健康影響に関する有識者会議の見解では、宮城県における放射線による健康への悪影響は考えられず、健康調査の必要はないとの判断がなされています。このことから、市は健康調査の必要はないと申し上げてきました。しかし、特に小さいお子さんをお持ちの保護者は、放射線被曝等に対する健康不安に心を痛めています。去る12月4日に放射能から角田を守る会の方から、子どもたちの甲状腺検診の実施を求める署名、市内1,582人を含む2,126人の署名簿が提出され、不安を持たれる保護者の方がまだまだおられることも承知して健康不安の解消策として考

えていることは、放射線による健康被害や甲状腺に関する正しい知識等の普及を目的とした専門医による講話や健康相談の実施を検討します。ただ、専門医が不足している状況にあり、実施に向けた調整に時間がかかりますが、何とか甲状腺の専門医からお話を頂戴できるように各方面をお願いしていますので、もう少し時間をください。

一方、環境省では、子ども被災者支援法に基づき、被災者生活支援等施策の推進に関する基本的な方針における施策について、福島近隣県を含め、事故後の健康管理の現状や課題を把握し今後の支援のあり方を検討していますので、今後も国に対して放射線からの健康不安の解消に努めるよう、引き続き市長会等を通じて要望したいと考えています。



必要警戒・避難体制に関する事項を定めるとともに、具体的な警戒・避難体制がとれる情報伝達、避難行動等の計画を作成します。土砂災害警戒区域の指定について県は新たに市内5、6か所を指定する予定です。

また、平成26年には、国土交通省が阿武隈川下流浸水想定区域の見直しを実施する予定ですので、現在の洪水ハザードマップの修正と一緒に洪水と土砂災害の情報がかかる防災マップの作成を進めながら、住民への周知を図ります。

なお、土砂災害警戒区域の発生時には、安全・安心メール及び緊急速報メール(エリアメール等)を活用して、土砂災害警戒区域の住民への情報伝達と現地パトロールなどを行い、人命を第一に考えた避難誘導体制を考えたいと思います。



行政区における女性の活動役割について

相澤邦戸 議員

議員▼国・県においても女性の社会参画が叫ばれて久しくなりましたが、その実現は本市においてもなかなか進展していません。まちづくりの担い手として区長・副区長として活動して欲しいと思いますが、考えを伺います。

市営住宅建設に関する今後の計画について

市長▼女性ならではの力を発揮する場の拡大、地域の様々な分野で等しく活躍することは必要であり、大切だと思います。男女協働参画の旗振り役として、啓発に努めます。

議員▼地区・行政の両輪で取り組むべきと思いますが、行政としてどのように推進しますか。

市長▼行政だけの取り組みで具現化できるものではなく、地域や事業所などが連携して社会全体で推進することが一番だと考えています。

議員▼国では2020年に女性の社会参画が30%になるよう進めています。女性が参画しやすい環境の整備や経験の機会が必要だと思いますが、

希望者の調査はしていません。

議員▼耐用年数が経過した住宅にも入居してありますが、安心・安全なので

建築住宅課長▼構造的には問題ありません。環境の整備を行い長く使っていくべく趣旨です。

議員▼将来に向け、どのような市営住宅建設構想を持っていますか。

市長▼平成26年度から公営住宅等長寿命化計画の見直しを進める予定です。

若者、ファミリー向けなどのニーズも含めた再配置の検討。さらに、居住者の意識調査の実施。人口減少、利便性等を勘案した計画を進めます。

別改善では関ノ内・金谷・老ヶ崎・柳町住宅の水洗化事業を行います。建てかえ予定は247戸で、平成26年度から計画づくりを着手。阿武隈急行駅周辺への配置や中高層の住宅の必要性など、様々な検討を行います。

議員▼2020年のオリンピック、パラリンピックの開催が東京に決定したことは、国民等しく感動したことだと思います。スポーツはする人、見る人、支える人、こうした人たちの努力、協力があるからこそ感動と喜びがあり、継続していくものと思います。2020年東京オリンピックを目標

2020年東京オリンピック GOかくだ!!

本田敏昭 議員



に定め、それぞれの立場で何ができるのか考えていくため質問をさせていただきます。

(1)スポーツを「する人」のために 角田市は仙台大学と連携協定を結びましたので、そうしたつながりも含めオリンピック選手育成の考えはありますか。

市長▼角田市スポーツ推進計画には、競技力の向上を盛り込もうと考えています。具体的な育成の方策は、これから仙台大学や体育協会などと相談します。

議員▼(2)スポーツを「見る人」のために 選手選考試合をはじめとする国内大会、世界の地区予選会、強化合宿などを調査し、招致活動を進めてみてはいかがでしょうか。

市長▼ロンドンパラリンピックの車椅子バスケットのチームが、角田市総合体育館で強化合宿を行った実績がありますので、県あるいは各競技の協会の皆さんと相談します。

議員▼(3)スポーツを「支える人」のために 東京オリンピックの機運を高めるために、誰でも参加できる事業を立ち上げてはいかがでしょうか。

尾山字引田地区内の道路整備について

議員▼市道山下線(3070号)は、幅員6メートルの道路にするとという約束で、昭和45年ごろ所有者の皆様が角田市に対して寄附をしたと伺っています。早急な整備をお願いするとともに、計画を示してください。

市長▼約束があったかどうか調べましたが、確認ができておりませんが、これまで地元からの要望は出されておりました。しかし、大雨のときには路面が洗掘され、敷き砂利が流出するなどの被害も発生していますので、当面は道路パトロールなどの巡回に努め、路面の維持管理をしながら通行の確保に努めます。

議員▼TPP(環太平洋連携協定)の受給を先取りするように、政府が米の生産調整、いわゆる減反政策を5年後に撤廃し、減反政策に協力する農家に支払う「米の所得補償交付金」の水田10アール当り1万5千円を平成26年産米から7千5百円に半減し、平成30年には全廃するということは、生産現場の農業者の声では

コメ政策大転換・補助金、5年後全廃について

日下七郎 議員



なく、政府の産業競争力会議などを通じた財界の意向に沿ったものです。ここで、市長に、今後の展望と対策を示さないままに、米の生産調整(減反)を廃止する方針を容認できるのか伺います。

市長▼米の生産調整、いわゆる減反制度の制度見直しに至ったことについて、10月24日に開催された政府の産業競争力会議において民間議員からの発言がきっかけとなり、制度廃止への議論が起されたものと聞いています。

これら一連の見直し決定は、農業関係団体との十分な積み上げがされた形跡がほとんどなく、さらに地方や地域の声が反映されないまま、短期間で決定したことについては、大変憂慮すべき事態であると思っております。農業者の不利益になるような内容であれば、簡単に容認できるものではないと考えています。丁寧な制度設計と環境整備など、問題点を洗い出し、市長会を通じて改善を要望します。

市道(西根12区地区)の維持・修繕について 議員▼市道北岡毛萱線からの農道の取り付けに設置された橋梁(3か所)は、市道の路面が目測で約40cm沈下し、市道と橋梁(3か所)の段差が生じます。

じています。市道の路面沈下を嵩上げし、安全に通行できるように修繕する考えはありますか。

市長▼農作業用トラックター等の農耕車両に対しては、引き続き看板による注意喚起を行います。また、市道と農道橋の段差解消を図る工事の計画については、全体的な舗装の打ちかえなどを行い、段差の解消に努めます。

議員▼橋梁番号10315(諏訪脇南支線排水路と大森川の合流点)と、車道の曲線部(カーブ)について、角田市市道の構造の技術的基準に関する条例第16条の曲線部の片勾配の規定に基づき修繕する考えはありますか。

市長▼市道北岡毛萱線の西谷地下橋はカーブに合わせて片勾配が付いていますが、そこに接続する部分の車道は、沈下により段差が生じ、一定の片勾配になっていません。条例では、車道との曲線部における片勾配は10%とされており、前後のアスファルト部分では、片勾配及びすりつけ長さが不十分ですので、一定区間の車道の改修を実施します。



今野林一郎 議員

有害鳥獣対策(イノシシ)について

もそれ以上、可能な限り、箱わなを購入します。

議員▼県や市に頼るだけでなく「自分たちで守る」という観点から、集落単位での捕獲に対する意識の高揚を図る必要があると思

市長▼自助・公助・共助といった視点で対応することが非常に重要ですが、広く周知します。

議員▼みやぎ環境税をもっと活用するなど、県全体として有害鳥獣対策を進めるよう働きかけてほしい。

市長▼去る11月29日、2市7町と宮城県、農協、共済組合、県の猟友会の各支部により構成される大河原地域農作物等鳥獣被害対策連絡会議が県主催で開催されました。この会議の中で、みやぎ環境交付金を財源とする有害鳥獣対策費の拡充について要望がなされたところ。今後もこうした機会をとらえて補助率の



▲箱わなに入ったイノシシ

# 議会運営委員会行政視察

## ●視察期間

平成25年11月20日（水）～  
21日（木）

## ●視察地・目的

### ①福島県郡山市

「代表質問について」

「議会中継ライブ配信に

ついて」

### ②栃木県宇都宮市

「代表質問について」

「議会中継ライブ配信に

ついて」

## ●視察所感

### ①福島県郡山市

郡山市議会の代表質問は、原則として3月定例会のみに行われています。質問時間は会派所属議員が4人以上の会派（交渉会派）は40分。所属議員が2人以上4人未満の会派（非交渉会派）は20分とし、当局の答弁時間は含まれていません。発言順の決定は、議会運営委員会において各会派の所属人数の多い順序で決定し、発言内容は市長の提案理由及び市政方針に対するもので、代表質問の発言回数は同一項目につき2回まで発言が

でき、関連質問はできません。また、代表質問を行う議員は、代表質問を行う定例会での一般質問は行わないとしています。3月定例会で代表質問を行う理由は、9月定例会での決算の内容をまとめ、予算編成が行われる12月に各会派の要望を市長に対して行います。その内容がどこまで反映されているのか、チェックすることも目的の一つとして行っています。角田市議会としても市民の負託に応えるべく、政策提言の場として代表質問を積極的に行っていく必要があると強く感じました。

ており、インターネット中継を導入した効果としては、大きな成果を出していました。本市はまだ録画放送を行っておらず、今後、多くの市民の方に議会を見て戴けるよう、検討課題として取り組んで行きたいと強く感じました。

### ②栃木県宇都宮市

平成24年3月定例会から、代表質問を実施しました。議員一人の質問時間は質問、答弁、すべてを含めて75分以内。代表質問を希望する会派は、3月定例会で代表質問を行うことができ、質問の順番は代表質問に限り所属議員の多い会派から行われます。代表質問を3月定例会に行う理由は、これまで3月定例会の一般質問で代表質問的な事を、慣例として行っていました。代表質問として明確化されておらず、平成24年2月に明確化しました。各会派は新年度予算編成前の10月～11月にかけて予算化の要望を行い、3月定例会の代表質問で予算要

望のチェックも含め行っていました。今回の視察を通して、会派から政策提言として予算を要望し、代表質問で予算と市政をチェックしていく重要性をさらに強く感じました。現在の角田市議会では代表質問の実施について議論をしているところであり、今回の視察で多くのことを学ぶ事ができ、今後さらに実施に向け議論を深めて参ります。

インターネット中継は、定例会、臨時会の本会議のみを中継しています。平成20年～平成24年のアクセス数は、生中継の最高で平成21年の19,345件、最低は平成22年の17,004件、録画映像の最高で平成20年の3,734件、最低は平成24年の2,155件。生中継は議場における映像と音声そのまま行い、録画放送は生放送後、編集し概ね1週間後から視聴できます。市民へのPRは、議会広報紙、議会HP、中心市街地拠点広場の大型映像装置、地元テレビ局のデータ放送、市関係機関で行っています。インターネット中継の効果は、市民が本会議を気軽に視聴できるとともに、議会や行政に対する関心や理解が深



▲宇都宮市議会議場にて

## 角田市議会ライブ中継

「本会議」や「特別委員会」のライブ中継をインターネットで視聴できますので、ぜひご覧になってください。

### パソコンでの操作手順

「角田市のホームページ」→「市議会情報」→「角田市議会ライブ中継」→「生中継を見る」



## 角田市議会会議録

本会議の『会議録』を公開しています。さまざまな検索方法があり、かんたんに検索できますので、ぜひご覧になってください。

### パソコンでの操作手順

「角田市のホームページ」→「市議会情報」→「会議録検索システム」



まり、身近で開かれた議会の推進が期待されることです。そのほか、市民の声として、ウィンドウズは対応が遅いので他への切り替え、携帯端末での視聴等がありますが、現時点では難しい状況にあるようでした。

今回の視察では、録画放送の配信についても学ぶことができました。今後とも、開かれた議会を推進するよう頑張る参ります。

# 市議会2月定例会

## 日程(予定)のお知らせ

- 2月10日(月) 招集告示、会派代表者会議
- 13日(木) 議員協議会、議会運営委員会
- 17日(月) 本会議(提案理由の説明)**  
会派代表者会議
- 19日(水) 議会運営委員会
- 24日(月) 常任委員会(請願審査)
- 25日(火) 本会議(質疑・自由討議)**  
**予算審査特別委員会**
- 26日(水) 議会運営委員会
- 27日(木) 本会議(討論・表決)**  
**予算審査特別委員会**
- 3月 3日(月) **予算審査特別委員会**  
会派代表者会議
- 4日(火) 予算審査特別委員会分科会
- 5日(水) 予算審査特別委員会分科会
- 6日(木) 常任委員会(議案審査)
- 7日(金) 常任委員会(議案審査)
- 10日(月) 予算審査特別委員会**
- 12日(水) 本会議(一般質問)**
- 13日(木) 本会議(一般質問)**  
議会運営委員会
- 14日(金) 本会議**

※請願及び陳情等の提出期限は、2月10日(月)までとなります。  
 ※本会議の開会時刻は、午前10時です。  
 ※太文字はライブ配信を行います。

## 議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのかわかることができます。お気軽に足を運んでみませんか。



※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

### 第370回(平成25年12月)定例会

**傍聴者数 18名**  
**インターネットライブ中継視聴者数 159名**

## 議 会 日 誌

### 10月

- 16日 全国市議会議長会基地協議会東北部会定期総会(17日)
- 22日 議会運営委員会
- 25日 みやぎ県南中核病院企業団議会定例会
- 28日 東北市議会議長会事務局職員研修会(29日)
- 31日 仙南地域広域行政事務組合議会定例会

### 11月

- 1日 市議会だより173号発行
- 5日 第369回臨時会招集告示
- 6日 会派代表者会議
- 8日 議員協議会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 第369回臨時会
- 18日 岩沼市議会だより編集会
- 8日 議員協議会
- 6日 望行動(東京都)
- 6日 宮城県市議会議長会要
- 6日 行政視察
- 6日 栃木県那須鳥山市議会

### 12月

- 2日 第370回定例会本会議(第1日)
- 4日 議員協議会
- 4日 会派代表者会議
- 4日 議会運営委員会
- 27日 議員協議会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 議会運営委員会
- 25日 会派代表者会議
- 25日 第370回定例会招集告示
- 20日 京都府宮津市議会行政視察
- 20日 議会運営委員会行政視察(21日)

### 1月

- 10日 議会だより編集会
- 11日 本会議(第2日)
- 11日 会派代表者会議
- 13日 総務財政常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 17日 本会議(第3日)
- 18日 本会議(第3日)
- 19日 全員協議会
- 19日 会派代表者会議
- 19日 本会議(第4日)
- 27日 議会運営委員会
- 27日 議会だより編集会
- 27日 仙南地域広域行政事務組合議会定例会

## 編集後記



穏やかな幕開けをいたしました平成26年も、早いもので、ひと月が過ぎようとしております。

さて、この度の「市議会だより175号」においては、昨年12月に開催されました第370回定例会において審議した条例・補正予算など16件と8名による一般質問及び行政視察の報告等を掲載いたしました。

今後とも、わかりやすく、より親しまれる市議会だよりになるよう研鑽してまいります。と考えておりますので、皆様のご意見やご感想をお待ちしています。

また、議会では「議会基本条例」に則り、引き続き開かれた議会を目指した取り組みの一環として、議会ライブ中継の配信や議会報告会等を開催する予定でありますので、市民の皆様の参画と併せて、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

議会だより編集会議